

日本エクスラン工業

アクリレートを伸ばす

新たに超・吸放湿「デフロスター」

日本エクスラン工業はアクリル「エクスラン」の19秋冬で、アクリレート繊維の新素材「デフロスター」を打ち出すとともに、マイクロシリースによる企画提案を強化し、インナーウェア・肌着向けの販売を伸ばす。同社は先に、アクリレ



アクリレートの拡販で前年並みの販売量確保を目指す

新しい価格政策も検討している。

デフロスターは、これまで繊維内部に均等に混入していた親水基を繊維表面に局在化させ吸放湿性能を大幅に引き上げた新素材。19春夏のスポーツ商戦で提案したところ好評で、大手スポーツアパレル経由の販売が既に決まっており、19秋冬に向けてインナー・肌着、シャツ向けにも用途を広げていくことにした。

ポリエステルやレーヨン、綿などとの混紡糸をインナーやスポーツインナー向けに投入。ビジネスシャツ、カジュアルシャツ向けに販売する織物をにらんだ開発にも力を入れている。

インテリア・寝装向けでは、大手家具・インテリアチェーンとの共同開

発を進めており、中わた中心だった取り組みを2018年度からフグや毛布へも広げている。

このほか、衣料用途には0・4デネ(T)「極衣」、0・7T(ブランド名未定)、1T「プレリール」の3タイプを構えるマイクロタイプを打ち出し、特に輸出での拡販を目指す。

18秋冬では、苦戦を続けた輸出が反転した影響で20%近い増販(数量ベース)を達成できるとみており、19秋冬に向けてはアクリレート繊維の販売を伸ばし、エクスラントータルで「少なくとも前年並みを維持したい」という考えを示す。